



親も子も笑顔になる
居場所・つながりづくり

チームとしまっ子

～女性が暮らしやすいまちづくり～

親も子も笑顔になる 居場所・つながりづくり

としまF1会議 チーム としまっ子

小幡 有希子(リーダー)、神立 行子、栗林 知絵子、関森 文子、藤井 明、本間 瑞穂

(2014/12/11)



チーム名の由来▶“東京生まれの東京育ちの江戸っ子“のようなイメージ。「豊島区で産み、豊島区で育てたい。」と思ってもらえるようなまちにし、生粋のとしまっ子を増やしたいという願い。

1

目次

I 検討テーマ (スライド3～4)

II 活動内容 (スライド5～10)

III 提案内容 (スライド11～22)

2

Ⅰ 検討テーマ (1/2)

「子どもの居場所づくり」からスタートしたが…

親の状況や子の年齢によって **要望** や **居場所** は様々



3

Ⅰ 検討テーマ (2/2)

より具体的な提案をするためにターゲットを絞り込み

親が働いている小学生の居場所

提案の方針

- ◆「地域のつながり」に着目して提案する。
- ◆「して欲しいこと」だけでなく「自分達でできること」も併せて考える。



4

II 活動内容【1 豊島区調査(1/2)】

小学生の居場所に関する豊島区の現状を、HP、印刷物、現地視察で調査。各部署へのヒアリングは10/25開催のワールド・カフェ(スライド9参照)で出た意見・提案を中心に質問した。(以下抜粋)

学童・スキップについて(子ども課)

- ◆学童の対象の拡大予定は？
⇒H27.4から**小学6年生までに拡大**
- ◆学童の時間の拡大予定は？
⇒早朝保育や19時までの**延長予定はない**。(新1年生応援保育は除く)
- ◆放課後こども教室に民間企業参入は？
⇒企業との連携も行っている。(IBM・東急ハンズ)
- ◆地域コーディネーターと教育機関の連携について
⇒住民のボランティアが行っているので**大学や企業との連携は難しい**。

5

II 活動内容【1 豊島区調査(2/2)】

ファミリーサポート制度について(子育て支援課)

- ◆利用者への補助の拡大
⇒援助会員と予算の確保が課題
- ◆事前面談なしで緊急利用できるか？
⇒援助会員と予算の確保が課題。**面談は安全確保の為必要**。
- ◆病児保育への対応もできるか？
⇒医療機関との連携が不可欠であり現状困難

区民ひろばについて(区民ひろば課)

- ◆案内標識をもっと広範囲にできないか
⇒のぼり旗等設置済
- ◆温かい飲み物の提供はできないか
⇒ポットにお茶を用意しているひろばもあるので、周知する。

6

II 活動内容【2 他自治体調査(1/2)】

NPO法人ふれあいの家「おばちゃんち」(品川区)

- ◆あずかり広場:3か月～就学前の一時保育
- ◆その他:保育サポーター養成講座、子育て相談
- ※スタッフの「おばちゃん」方は、子育てがひと段落した主婦の方や退職された方等で温かい雰囲気。「ふれあい広場」と称して交流事業を幅広く開催している。



北品川児童センター(品川区)

- ※在宅で子育てをする保護者と乳幼児の支援に力を入れている。豊島区の家家庭支援センターと学童が同じ建物にあるといった印象の場所。イベントが多く、ママ友を作るには良い。



II 活動内容【2 他自治体調査(2/2)】

富士見わんぱくひろば(千代田区)学童

- ◆児童館:乳児～18歳対象。広く充実した施設
- ◆学童クラブ:生徒約100名、スタッフ7名
- ※施設の建設から運営まで一貫して民間が受託。子ども・保護者の目線にきめ細かく対応。



NPO法人でんでん子ども応援隊(北区)

- ◆でんでん保育室:0～3歳
- ◆学習サポート教室:小学生・中学生
- ※保育士は北区で子育て中のママ。昼間は小さな子ども、夕方からは小中学生が集まりまさに「地元のママ」が作った「子どもの安心基地」という印象。



詳細は別冊「参考資料」P1～3参照

8

II 活動内容【3 ワールド・カフェの主催(1/2)】

開催概要

提案を、よりニーズに即したものにするために、当事者の生の声を集めるべくワールド・カフェを主催した。

- ◆開催日時 :平成26年10月25日(土)
13:45～15:45
- ◆開催場所 :勤労福祉会館
- ◆テーマ :子どもの居場所
(預け先&遊び場)
- ◆対象者 :テーマに関心のある方
- ◆参加者数 :28名
(保育4名、子の同席3名)

<広報用チラシ>



9

II 活動内容【3 ワールド・カフェの主催(2/2)】

開催結果

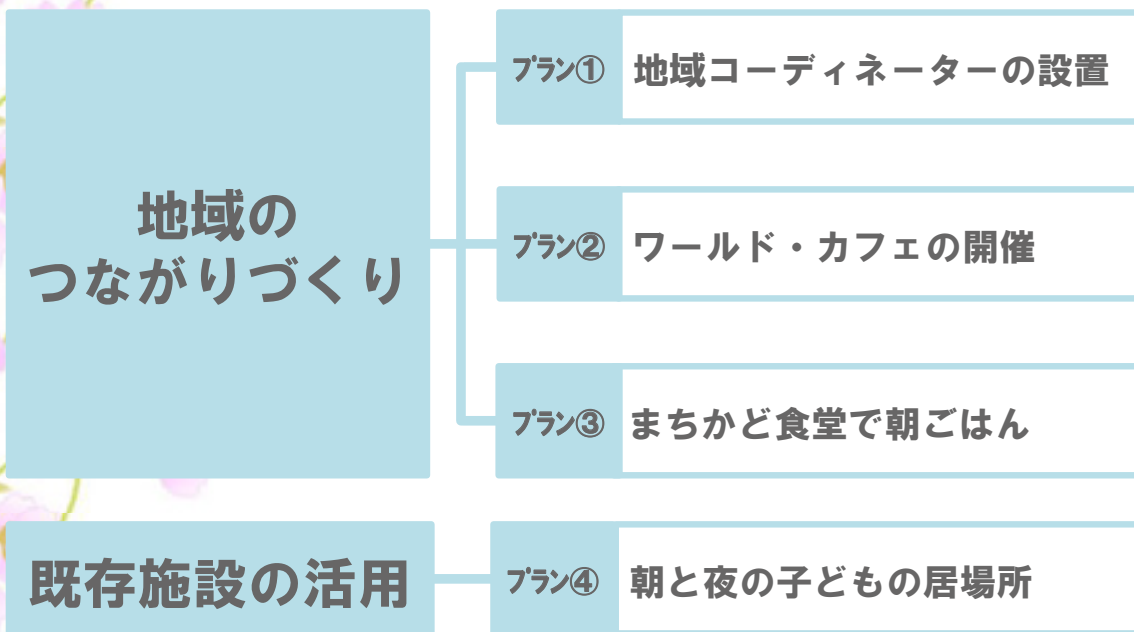
- ▶多数派意見
 - ・ **地域コミュニティについて 28件**
(近所の子育て家庭との交流・助け合い)
(今日のようなWCの開催や、自治体に声を届ける仕組み)
 - ・ **学童やスキップについて 23件**
(時間延長、スペース拡大)



詳細は別冊「参考資料」P4～10参照

10

Ⅲ 提案内容【プラン全体】



※本章に出てくる「WC」とは「ワールド・カフェ」のことです。

Ⅲ 提案内容【方針】

イメージA ありがちな対話
(お金に頼る解決)

※ただしお金での解決が最適な問題もある。

学童の預かり時間を延長して

予算が大きい。未計画です

保育と同等にしてください

学童は集団生活の指導です。
保育と同列には考えません

働けなくて困ります

就学児も御家庭も自立を



イメージB 生産的な対話
(人の関わりによる解決)

学童の預かり時間を延長して

事件・事故が心配

地域の見守り力を上げましょう

大人に見ていて欲しい

人件費増額がむずかしい分関
わってくれる大人を探しましょう

子ども一人では危ない

親子で安全について
話し合える機会をつくりましょう

プラン① 地域コーディネーターの設置 (1/2) ～つなぐさん（地域子どもコーディネーター）～

実施主体

つなぐさん(地域子どもコーディネーター)
※「人と人とをつなぐ」「地域の輪を次世代へつなぐ」意味をこめて

対象

子どもに関連する課題のために
地域で活動(場づくり・イベント開催)したい有志者

概要目的

地域コミュニティの活性化を支援することで以下を促進
①子育て世帯を中心とした、情報交換・助け合い
②子育てを軸とした、地域による自治・政策提言

提案理由

10/25のWC(テーマ:子どもの居場所、スライド9)では
地域コミュニティに関する提案が全体の29%を占めた。
「地縁・血縁の希薄さ」を背景とした子育てのニーズを、
コミュニティ活性化により解決・軽減できると考えた。

13

プラン① 地域コーディネーターの設置 (2/2) ～つなぐさん（地域子どもコーディネーター）～

詳細

- ◆実施内容:
 1. 区民ひろばを拠点として子ども・家庭と交流
 2. 地域の様々な場に参加し状況把握
 3. 場作り・イベント開催の主体となる有志者を見つける
 4. 開催支援(情報提供、励まし、物品や設備)
 5. 成果のレポート化・政策提言
- ◆予算(最大):1人240万円×19ヶ所=4,560万円

区の関与

- ・「つなぐさん」の人材探しと雇用
- ・交流の場として区民ひろばの整備
- ・場作り・イベント開催の支援(物品、設備、広報)⇒プラン②
- ・担当部署による情報提供、政策提言への対応

懸案

- ・ルーティンや強制にならないよう、企画毎に有志者(主に、ニーズを抱える本人)を主体とし、「つなぐさん」は支援に徹する。
- ・困難を抱える層ほど活動が難しい。有志者の発掘と支援が課題。
- ・関わる人相互の利益となるような持続可能な解決の視点が必要。

14

プラン② ワールド・カフェの開催 (1/2)

～子育てとしまホッとカフェ～

実施主体

つなぐさん(プラン①)、又は委託(NPO・地域団体)

対象

子育てを中心とした、暮らしと地域の関わりに
興味がある区民

概要目的

WCで区民の意見を集め区政に反映
◆子育てを通し、「もっとこうだったら...」の声を拾い上げ、親も子も安心して暮らしやすいまちづくり
◆地域のつながりづくりとネットワークづくりの促進

提案理由

10/25のWC(テーマ:子どもの居場所、スライド9)において
・様々な子育て状況の方々との会話を通して意見を聞き、区民と行政が協働できる可能性を模索した。
・育児から学校、預け先、遊び場に関する情報を参加者で共有できた。

15

プラン② ワールド・カフェの開催 (2/2)

～子育てとしまホッとカフェ～

詳細

◆区内施設にて30名程度のWCを開催(年2回)
◆意見を取りまとめ「提案書」を作成し担当課に提出
◆予算:80,000円【内訳】(飲食費@300×30名)+(チラシ印刷代@60×500枚)+(その他事務費1,000)×年2回
※まずは1か所モデルで行い、その後地域を拡大

区の関与

・地域コーディネーターの人選・管理運営
・提案書を受理した担当課にて、案件の検討結果の回答と実現性の提示
・実施予算と開催施設の確保及び事務備品の貸出
・周知活動(区報掲載、区施設へチラシ送付)

懸案

・改善意欲の高い参加者の掘り起し
・生産的な対話になるよう運用の工夫

16

プラン③ まちかど食堂で朝ごはん (1/4)

～まちかど食堂・おはようバナナ！～

実施主体

つなぐさん(プラン①)、又は委託(NPO・実行委員会)

対象

小学生、中学生、高校生、大学生、若年社会人

概要目的

通学路で、朝ごはんとしてバナナを提供することで、空腹の子どもを減らし、地域の人との会話を促し、**地域と子ども達のつながりを生み出す**。また、自尊心を育む。

提案理由

- ・10/25のWC(テーマ:子どもの居場所、スライド9)において、「**地域の交流・つながりが必要**」との声が多数。
- ・「地域の子育て力」の向上には「**隣近所の人と子どもが顔見知りになり、声をかける関係を作る**」と回答する保護者が半数以上。(豊島区子育て支援ニーズ調査報告)

17

プラン③ まちかど食堂で朝ごはん (2/4)

～まちかど食堂・おはようバナナ！～

詳細

- ◆1週間に1回程度、登校に合わせて実施
- ◆バナナスタンドを設置(栄養価、食べ易さ、渡し易さ、価格等考慮しバナナ)し、スタッフが手渡し。
- ◆予算:288,000円(1回3,000円×週1回×4週×12月×2か所)

区の関与

- ・**実施主体への働きかけ**(実行委員会形式にする際は、キャンペーン企画後、委員の公募)
- ・上記予算の確保
- ・**地域住民や学校へのコンセンサス**、その他広報等

懸案

安全衛生の確保、地域住民や学校へのコンセンサス

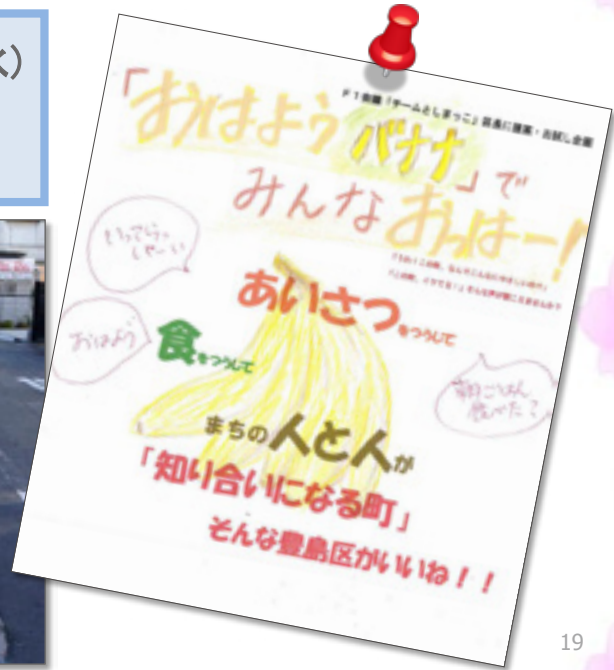
詳細は別冊「参考資料」P14～15参照

18

プラン③ まちかど食堂で朝ごはん (3/4) ～まちかど食堂・おはようバナナ！～

実際やってみました！（開催概要・チラシ）

- ◆開催日時 平成26年12月3日(水)
7:50～8:20
- ◆開催場所 池袋本町



プラン③ まちかど食堂で朝ごはん (4/4) ～まちかど食堂・おはようバナナ！～

実際やってみました！（配ったバナナ）



プラン④ 朝と夜の子ども居場所 (1/2)

～働く親の「不安」を「ファン」へ！～

実施主体

豊島区

対象

小学生とその保護者

概要目的

子どもの「登校前」「学童終了後」の安全を区が確保し、保護者が安心して「仕事と子育てを両立できるまち」となる。働く親の「不安」を「FUN(喜び)」に変え、豊島区の「FAN(支持者)」になってもらう。

提案理由

10/25のWC(スライド9)において、提案全体の24%が学童・スキップに関する事で、内49%が「預かり時間の延長」を望んでいる。女性の社会進出が進み、WLBを重視する世相を反映していると言える。
また近年、登下校中の子どもを狙った犯罪が多く報じられ、昔よりも児童を1人にする事への不安が大きいと考える。

21

プラン④ 朝と夜の子ども居場所 (2/2)

～働く親の「不安」を「ファン」へ！～

詳細

◆登校前の児童の居場所をつくる

- ① 7:15からの早朝保育(予算額3,000万円※)
※ 早朝の勤務体制パートタイマーのみの配置が法令上不可
- ② 7:15から小学校開門

◆学童終了後の児童の居場所をつくる

- 学童預かり時間を19:00に延長(予算額1,600万円※)
※「新一年生応援保育」分に加えて

財政面の課題 →利用料を徴収する。(延長保育と同様)
→低学年のみの対応とする。

区の関与

上記予算と人員の確保

懸案

予算額が大きい、人員の確保と既存人員の負担

22

F1 会議 チームとしまっ子

参 考 資 料

(2014/12/11)

| | |
|---|-----|
| <u>1 他区訪問レポート</u> | P1 |
| ・北区 NPO 法人「でんでん子ども応援隊」 | P 1 |
| ・品川区 NPO 法人 ふれあいの家「おばちゃんち」 | P 2 |
| ・品川区立 北品川児童センター | P 3 |
| <u>2 ワールドカフェの開催</u> | P4 |
| ・実施報告 | P 4 |
| ・チラシ | P 5 |
| ・提案シート集計 | P 7 |
| <u>3 過去情報整理シート</u> | P11 |
| チームで出た意見、フィールドワークのヒアリング、 ワールドカフェでの意見等をまとめたもの | |
| <u>4 F1 企画書「おはようバナナ！」</u> | P14 |

他区の魅力的な子育て事業【北区&品川区】 訪問レポート

1 北区 NPO法人「でんでん子ども応援隊」

事業内容

(1) でんでん保育室←今回訪問

○対象：0歳から3歳（0歳は+¥2000/月）12名まで

○時間：月～金 9：00～16：00

○費用：週1日 ¥16,000/月

週2日 ¥28,000/月

週3日 ¥42,000/月

週4日 ¥56,000/月

週5日 ¥68,000/月

○保育士は北区で子育て中のママさん

○一時保育 月～金9：00～16：00の間 1時間¥1,000 事前に登録し、電話で予約

○お弁当&お菓子は各自持参

(2) 学習サポート教室

○対象：小学生&中学生

○時間&費用：【小】火～金 16：30～17：20、17：30～18：20

¥6,200（2コマ/週）～¥12,400（4コマ/週）

【中】火～金 18：30～20：00（中）

¥8,200（1コマ/週）～¥16,400（2コマ/週）

※高校受験指導プランもあり

(3) 子連れ講座

TENゴスペル教室

月2回（月）10：20～12：00 ¥1,200/1回

(4) 地域子どもクラブ

書道クラブ

小学1年生～ 月3回（月）17：00～18：30 ¥3,500/月

▶訪問した感想

電話対応からとにかくWELCOME！な雰囲気の職員の方々と、とても親身になって話を聞いてくれました。昼間は小さな子どもたち、夕方からは小・中学生が集まるこの場所はまさに「地ママ=地元のママ」が作った「子どもの安心基地」です。

でんでん保育室の室内はとても広いフラットなスペースで、12人の子どもたちが遊ぶには十分な広さでした。見学時はちょうどお昼寝タイムで、半分を仕切って布団を敷き、寝ている子がほとんどでした。中でも0歳の子が一人職員さんにずっと抱っこしてもらいながら寝ていたり、「お昼寝したくない」と言う一人の子に付き合って絵本を読んであげている職員さんがいたり、一人ひとりの子どもに手厚いサポート体制があるように感じました。また、1日のスケジュールを伺ったところ、午前中は2時間たっぷり公園で外遊びをするそうです。夏は水遊び、今は泥んこ遊びをするのでたくさん着替えを持ってきてもらっているとおっしゃっていました。話を伺っている間、娘は楽しくおもちゃで遊ばせてもらいました。おもちゃと絵本の数が多かったのと、ピアノがあったのが素敵だなと思いました。職員の方は皆さん「地ママ」で、もともと保育士資格のある方やない方、この仕事をして取得した方など様々なようです。

現在空きはなく、待機しているお子さんも多いそうです。週1なら入りやすいけれどやはり週4、5希望される方は難しいかもという状態でした。